



2021年12月22日

各 位

会 社 名 日 水 製 薬 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 小 野 徳 哉
(コード番号4550 東証第1部)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 齋 藤 伸
(TEL. 03-5846-5611)

新市場区分「プライム市場」選択申請及び 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書に関するお知らせ

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間について

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出した「流通株式数」「流通株式比率」「1日平均売買代金」は適合しておりますが、「流通株式時価総額」については87.5億円と僅かに基準を充たしておりません。

当社は、2025年3月期（次期中期経営計画最終年度）までに、一次判定において適合していなかった「流通株式時価総額」の更なる向上を目指すとともに、上場維持基準を安定的に充たすための各種取組を進めてまいります。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容について

添付しております「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」をご参照ください。

なお、本計画書に記載しております取り組みは、当社グループの企業価値向上と持続的成長に資するものであると考えております。

以 上



新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書

2021年12月22日



日水製薬株式会社

上場維持基準への適合状況

	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	1日平均 売買代金
当社の状況 (移行基準日時点)	89,233単位	87.5億円	39.5%	0.3億円
上場維持基準	20,000単位	100.0億円	35.0%	0.2億円
計画書に 記載の項目		○		

【上場維持基準への適合状況】

当社は、2021年7月9日に東京証券取引所よりプライム市場における上場維持基準の適合状況について、「流通株式時価総額」のみ適合していない旨、通知を受けております。

当社の移行基準日時点における流通株式時価総額は87.5億円であり、上場維持基準である100億円を僅かに下回っております。

当社は、今後中期経営計画(2023年3月期～2025年3月期:2022年5月公表予定)を策定するとともに、流通株式時価総額に関して2025年3月期までに上場基準を満たすための各種取り組みを実行してまいります。

課題と基本方針

課題

流通株式時価総額の向上＝株価の向上

- ・ 流通株式数及び流通株式比率は既に基準を達成
- ・ 株価の向上により、流通株式時価総額を達成する必要を認識

基本方針

- ① 着実な事業成長
- ② 株主還元強化・充実
- ③ IR活動を通じた認知度向上
- ④ コーポレート・ガバナンスの更なる強化

今後の取組み内容

① 着実な事業成長

事業成長による利益創出と、 更なる発展に向けた株式価値の向上

当社は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、製品の安定供給や拡売に努めてまいりました。その結果、当社事業は着実に成長し、当社の2022年3月期1株当り当期純利益(EPS)は43円76銭を予想しております

当社理論株価を2022年3月期EPS予想と直近5期末の平均PERを基に計算すると1,562円、流通株式時価総額は140億円となり、上場維持基準に適合します

【当社株式の理論株価】

$$\begin{array}{ccccccc} \text{EPS予想} & \times & \text{PER}^* & = & \text{理論株価} & \times & \text{流通株式数} & = & \text{流通株式時価総額} \\ 43.76\text{円} & & 35.7\text{倍} & & 1,562\text{円} & & 8,923\text{千株} & & 140\text{億円} \\ & & \text{※PERは直近5期末の平均} & & & & & & \end{array}$$

【当社の取組み】

- 第一に今期業績予想の達成を実現するとともに、主に成長分野としている再生医療分野に用いる細胞培養用培地や再生医療等製品の安全性試験に用いるMyco Finderの販売を推進し、持続的成長を進めることで株式価値の向上を目指し、上場維持基準適合を実現します

今後の取組み内容

②株主還元強化・充実

安定的な配当継続を基本としつつ、 利益を積極的に株主へ還元

当社は、収益力向上による株主の皆様への利益還元を、企業経営の重要な使命と認識しております

利益配分は、当社を取り巻く経営環境や直近の収益状況、財政状態等にも十分配慮しつつ、将来にわたり安定的な配当継続を重視することとしております

【当社の取組み】

- 2022年3月期において新型コロナウイルス感染症のPCR検査薬の販売が売上に寄与したことを受け、特別配当による増配を決定いたしました。この結果、年間配当金は1株当り40円(前期30円)となる予定です
- 今後も、当社を取り巻く環境を考慮しながら、創出した利益をステークホルダーの皆様へ還元することで株式価値の向上を目指し、上場維持基準適合を実現します

今後の取組み内容

③IR活動を通じた認知度向上

株式市場認知度を向上させ、 新たな投資家と市場からの評価獲得

当社は、前述の取組みに加えて株式市場における認知度を向上させることで、需要を喚起し新たな投資家の呼び込みと市場からの評価を獲得することを目指します

【当社の取組み】

- オンラインでの個人投資家向けIR説明会の実施をはじめとする情報発信の強化や、IRイベント・セミナー等への参加等を行うことで、当社に対する投資家の皆様の認知度向上に努めるとともに、新たな投資家の呼び込みを進めます
- 加えて、情報発信を通じ株式市場から当社に対する適切な評価を獲得することで株式価値の向上を目指し、上場維持基準適合を実現します

今後の取組み内容

④コーポレート・ガバナンスの更なる強化

高度なガバナンスによる環境変化への対応と、 株式市場との対話推進

当社は、高度なガバナンス体制を構築・維持することによる環境変化への適切な対応を進めるとともに、株式市場との対話を推進します

【当社の取組み】

- 企業価値の向上を目指すとともに、経営の健全性、透明性を高めるために、体制の整備及び内部統制を強化しております。取締役は6名と少人数のため、個別案件について詳細な検討と迅速な意思決定が可能であり、今後変化する環境へ適切に対応します
- 当社はIR担当取締役を設置しており、経営企画部門をIR 担当部署としております。今後も株主等との建設的な対話を通じて株主等の目線から経営分析や意見を吸収し反映することで、持続的な成長と中長期的な株式価値の向上につなげ、上場維持基準適合を実現します

(参考資料)
2022年3月期
成長戦略



経営方針

持続的成長する企業

新規事業推進による新たな価値の創出へ向けて、
成長分野への積極的投資を行う。

2022年3月期(2021年度)の目指す方向性

※2019-2020中期経営計画の期間を1年間延長

利益ある成長

既存事業の拡大・伸長 / 新技術獲得(抗体・再生医療用培地)

新たな企業イメージ醸成

SDGs / 規格提案

ステークホルダー還元へ

賃金(インセンティブ) / 配当

キーワード

- ・オープンイノベーションの中で新たなビジネスを生み出す
- ・オンラインでグローバルにサービスや規格を提供していく

注意事項

本資料に記載されている将来に関する記述等は、当社が現在入手している情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



日水製薬株式会社